

第3章 厚別区の今

昔から戻ってきたぞ。
今、みんなが住んでいる厚別区は
どんなまちなのかな？



わたしたちのまちの
プロフィール

知ってる？厚別区



厚別区のシンボルマークは何に見える？

全体は厚別区の頭文字(Atsubetsu)の「A(a)」。左側のピラミッド型は区の形で、2本の線で川を、太い線と2本の線で葉っぱを表現しています。右側は、厚別区に住むみんなの力で、まちづくりが飛躍するよう、鳥をイメージしています。青緑色は、すがすがしい街と豊かな自然を表しています。



みんなで取り組むまちづくり



住みよいまちをつくるために、
地域の人がんばっているんじゃ。
よいまちをつくるために
みんなは何ができるかな？

①あつべつ区民協議会・ 各地区まちづくり会議

町内会や会社など地域の団体が集まって、厚別の
まちを良くするために、活動しているよ。

②町内会・自治会

過ごしやすいまちに
なるように、同じ地
域に住む人たちが協
力して、いろいろな
活動をしているよ。



陽だまりロードのごみ拾い

③子ども会

キャンプや子ども
まつりなど、子ども
たちが楽しめる行
事を行っているよ。



厚別区子どもまつり

④青少年育成委員会

子どもたちがすこやかに育つよ
うに、まちを見回ったり、地域・
学校・家庭と連携した活動を行
っているよ。



⑤民生・児童委員

お年寄りや子どもたちが困ったとき、相談相手にな
ったり、みんなが交流できる行事などを行っているよ。

⑥交通安全運動推進委員会

交通事故が少しでも減るように、外で呼びかけたり、
交通安全教室などを行っているよ。



⑦福祉のまち推進センター

一人暮らしのお年寄りの手助けなど、高齢者の生活
をよくするために活動しているよ。



さむら健康茶話会

この他にも地域の団体や学校・
PTAなど、いろいろな人たちが
まちづくりに関わっています。

アッキーは
どこに行っちゃった
のかな…？
みんな、探してね。



自然あふれる厚別



厚別周辺には自然がいっぱい！自然観察をしてみよう！

青葉中央公園

人の手を加えず昔からの地形を残している青葉中央公園は、春にはカッコウやヒバリなどの野鳥が飛来し、沢沿いにはミズバショウの群落を見る事ができます。



野幌森林公園

札幌市(厚別区)、江別市、北広島市にまたがる、とても大きな公園です。



詳しくは、45ページへ

自然がたくさん残っているんだね。



ひ陽だまりロード

サクラ、ナナカマド、シラカバなどの樹木が見られます。沿道には、厚別南白樺公園、厚別南緑地など、緑豊かな公園があり、野鳥も多く見られます。



詳しくは、35ページへ

厚別マメ知識～厚別の公園

厚別には公園・緑地が164カ所もあります。その中でも広い公園を『地区公園』といい、厚別には「青葉中央公園」と「熊の沢公園」の2カ所があります。どちらも緑あふれる自然豊かな公園です。

熊の沢公園

シラカバ・ヤチダモ・ツリバナ・ヤマモミジ・メイゲツカエダなど多くの樹木が見られます。



自然観察に出発！

ルールを守って自然を守るんじや！



自然観察のルール

RULE

- 草花をつみとらないようにしましょう。
- 危険な場所へは絶対に行かないようにしましょう。
- ごみを散らかさないようにしましょう。

！自然観察の注意

DANGER

自然には危険な生き物もたくさんいます。森の奥へ入ったり、むやみに植物や動物にさわったりしないようにしましょう。



スズメバチ

スズメバチは巣を守るために攻撃するので、見つけたらさわがず静かにその場を立ち去りましょう。



カ・ブヨ

“カ”や“ブヨ”は、夏に多く見られ、刺されることがあります。虫除けの薬などを用意しましょう。



ツタウルシ

3枚に分かれたツヤのある葉っぱが特徴のツタウルシは、さわるとかぶれます。むやみに植物にさわらないようにしましょう。

自然を守るう！

花をつんだり、生き物を捕まえることは自然にとって良くないこと。でも、飼っている生き物を森や川に放すことは、もっとダメ。自然破壊の原因になります。家で育てていた植物やペット、昆虫などを森に放すと、元々住んでいた生き物が食べられたり、影響を受けて弱ってしまい、やがて本来の自然環境を破壊してしまいます。自分が育てた生き物は、責任をもって最後まで世話をしましょう。



よーし、自然観察に出発！



野幌森林公園には
いろいろな自然が
たくさんつまっ
てるぞ！

野幌森林公園の自然

野幌森林公園は、大都市近郊の平地林として世界的にも貴重な公園で、豊かな自然がたくさん残っています。公園内の道は整備されており、自然観察にはぴったりです。



公園内の約束

1. 遊歩道から外れない
2. 動物、植物をとらない
3. ごみを捨てない



昆虫

クワガタムシなどの甲虫や、チョウ、トンボ、カメムシなど、1300種以上の虫が確認されています。



植物

トドマツやミズナラなど、100種を超える樹木、ミズバショウやフクジュソウなど600種以上の草花が季節を彩っています。



北海道立野幌森林公園 自然ふれあい交流館

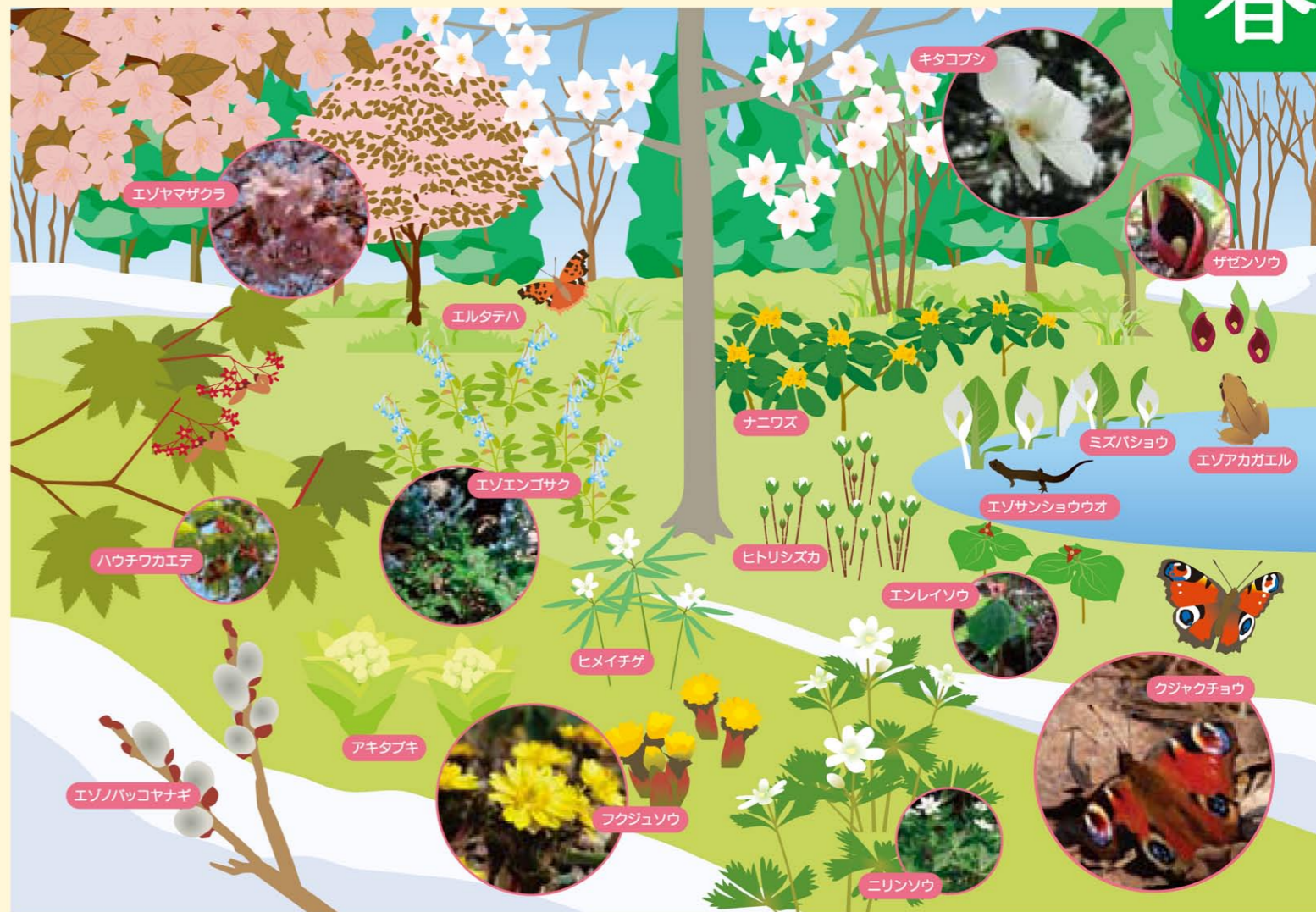
☎ 011-386-5832

野幌森林公園や北海道の自然に関する情報や資料があり、自然観察会などの行事も開催しています。

写真協力(46ページから50ページ)
演本 真琴氏(自然ふれあい交流館)

季節ごとの
自然を
見に行こう！

じゅもく
樹木の根元から雪がとけて地表が現れます。そこからいろいろな植物の芽が出てきます。



自然観察のポイント 春

さえずりで鳥がわかる！

春には多くの鳥たちがやってきます。さえずりにそれぞれ特ちょうがあるので、どんな鳥がいるのかがわかります。さえずりをたよりに鳥を探してみましょう。

オオルリ

水辺の紅葉樹を好み、「ヒーリーリー」や「フィーチャーチャー」と大きな声でさえずります。



キビタキ

林の中で、「ピッコロロ、ツクツクチー」と明るくさえずります。

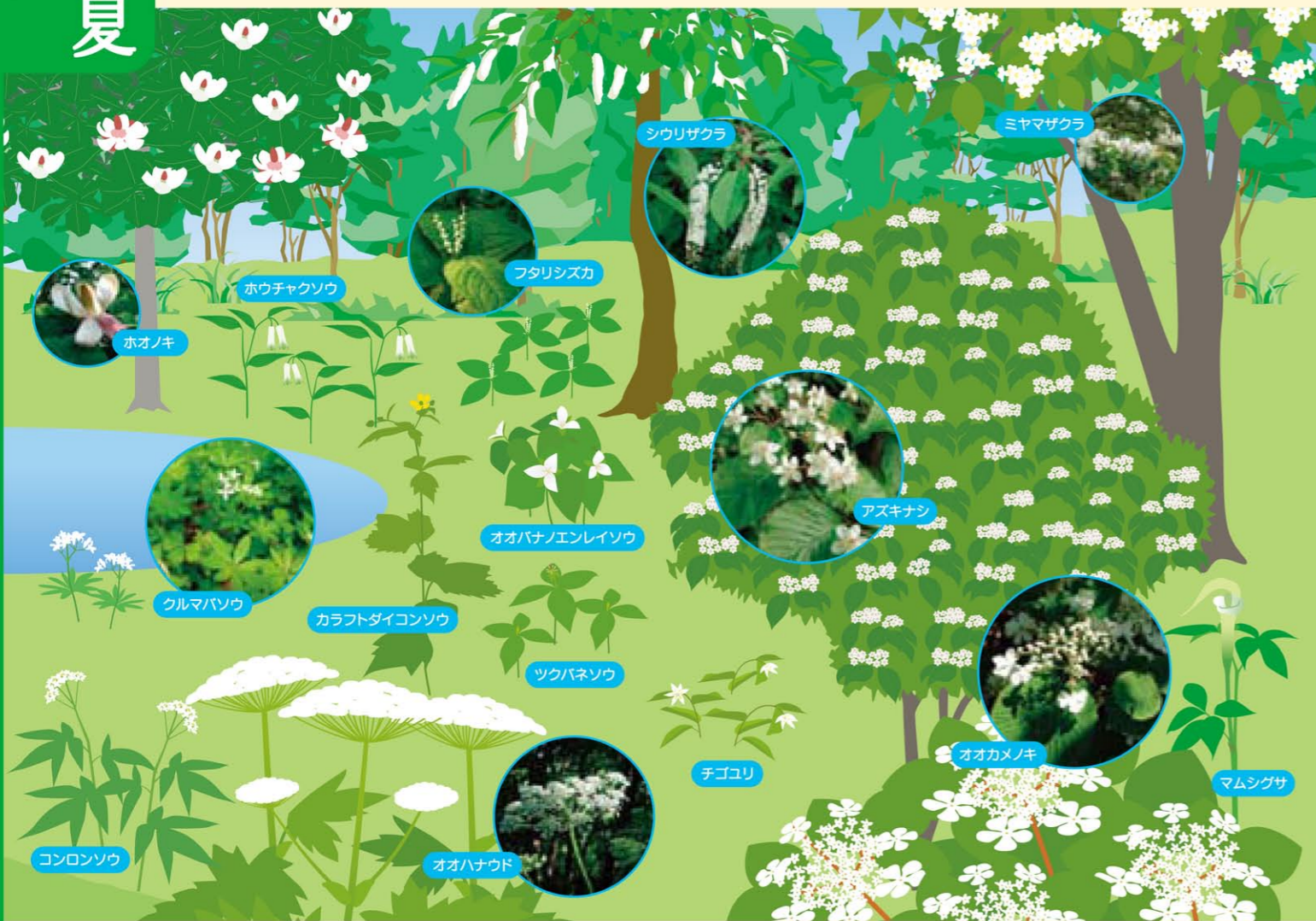


クロツグミ

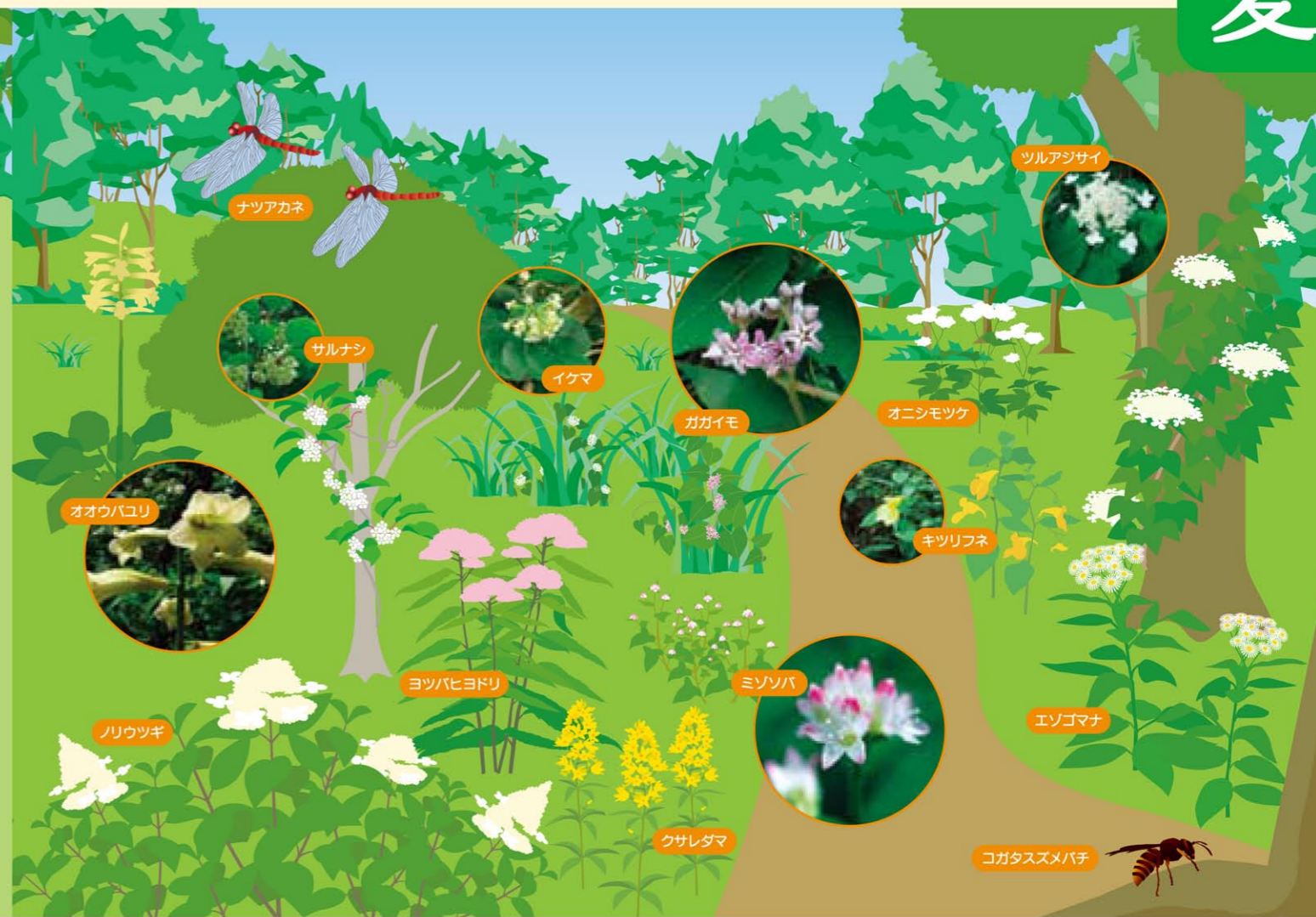
地上においてきます。「キョロイ、キーコ、キョコキョコキョコ」と陽気にさえずります。



森の緑が次第に濃くなって、さまざまな生き物が活発に動きはじめます。



生い茂った葉や草にまぎれながら、蝶やトンボなどの虫たちが、花や木に集まります。



自然観察のポイント 初夏から夏

夏に見られる昆虫①

北海道のセミの中で一番早く羽化するエゾハルゼミが鳴き出したら、夏の始まりです。一か月ほど遅れて、コエゾゼミ、エゾゼミが鳴き出します。



自然観察のポイント 初夏から夏

夏に見られる昆虫②

樹液や花の蜜を求めて虫たちが集まり、短い夏を精一杯生きます。夏の終わりにはナツアカネが赤くなり始め、秋の訪れを感じさせます。



秋

森が赤や黄色にそまり、木の実が熟し、動物たちは冬への準備を始めます。



冬

森は雪に包まれ、白い世界へ。雪の上には動物の足跡が発見できます。



自然観察のポイント 秋

秋の木の実

熟して色づいた木の実、鳥などに食べられます。実の中にある「たね」は、食べた鳥のフンとして、他の場所に運ばれていきます。



自然観察のポイント 冬

雪の上で見つけよう！

冬の森では、雪の上にいるいろいろな動物の足跡が見つかります。動物によって足跡が違うので、どの動物がいたかわかります。

キタキツネの足跡

左右の足跡にぶれがなくほとんど一直線なのが特徴です。

ユキウサギの足跡

「ケンケンパ」をしているような足跡。小さいのが前足、大きいのが後足です。

エソリスの足跡

大きいのが後足でその後にある小さい足跡が前足です。ユキウサギのように縦にならず、横にならびます。

